

=====  
科 目：機械工学

氏 名：八木田 智  
=====

■問1■

【請求項1】

折りたたみ可能な媒体のシートを保持するよう動作可能なホッパーと、

前記ホッパーと協働し、第一位置と第二位置との間で移動可能であり、かつ、前記第一位置に位置する時にホッパー内の折りたたみ可能な媒体のシートに係合し、前記第二位置に位置する時に折りたたみ可能な媒体のシートを解放するよう動作可能なシャトルと、

前記シャトルからの折りたたみ可能な媒体のシートを受け取って先に進めるように動作可能な送り出し供給及び抜き取り組立体と、

前記送り出し供給及び抜き取り組立体からの折りたたみ可能な媒体のシートを受け取って先に進めるように動作可能なコンベアと、

前記コンベアから折りたたみ可能な媒体のシートを受け取り、折りたたみ可能な媒体のシートを折りたたみ、かつ、折りたたまれたシートを先に進めるように動作可能な折りたたみローラ組立体と

を備えた折りたたみ可能な媒体の一枚又は複数枚のシートを同時に折りたたむよう動作可能な紙折りたたみ装置。

【請求項2】

前記シャトルが、上面部、下面部及び前面部を備えた内側室を画定する本体を有し、前記上面部に前記内側室と連通する複数の孔が設けられている請求項1に記載の紙折りたたみ装置。

■問2■

【背景技術】

【0001】

従来のタービンエンジンは、機械制御式の連続噴射供給システムに関する幾つかの重大な限界に悩まされている。これらの限界には、少なくとも以下の限界が含まれる。

- (1) 燃料燃焼の効率が、燃料を連続噴射ではなく飛沫で燃焼室内に導入した場合の効率を下回る。
- (2) 燃焼室内の燃料分布が非効率であり、既に非効率な燃焼を著しく助長する。
- (3) 排気ガスに、度々、非燃焼燃料が含まれており、大気汚染の原因となる。
- (4) 制御システムが、度々、(流速、空気消費率又は負荷変動等のような)重要な操作変数に関して、必要とされ得る精密さで操作者が燃料供給工程を制御することを可能にしない。
- (5) システムを操作し保守することが難しい。
- (6) 多くの可動部材のために制御システムが複雑である。
- (7) システムが、航空機への適用に特に問題となる不要な重さをタービンに付加する。
- (8) 複雑な構造と精密な機械的許容差のために燃料供給及び制御システムの製造及び／又は組み立ての費用が高くなる。
- (9) システムが機械システムであるので、本質的に応答時間が遅い。

#### 【0002】

本発明は、二つの主たる特徴により、これらの限界を解消するよう構成されている。第一に、燃料は、連続噴射供給システムではなく、燃料噴射装置を用いて燃焼室内に脈動で噴射される。

#### ■問3■

##### 【発明を実施するための最良の形態】

#### 【0011】

以下に添付図面を参照して本発明の好ましい実施例を説明する。図1は、本発明の第一実施例に従った收容装置の平面図であり、図2は図1のA-A線断面図である。

#### 【0012】

図1及び図2は、一実施例に従った收容装置10を示している。收容装置10は、導入及び排出開口14を有するアウターハウジング12を備えている。前記開口14の下方には、以下により詳細に説明するように收容装置10から出されたCD-ROMを捕捉して保持するための捕捉ブラケット16が配置されている。捕捉ブラケット16は、ハウジング12に、詳細には、開口14を画定するボス部1

8に回動可能に連結されている。捕捉ブラケット16は、開口14を通してブラケット16上にCD-ROMが出された時にCD-ROMを支持するように、CD-ROMが合致し得る長手方向スロット20を有し得る。ハウジング12は、基礎部21、下側ハウジング部22及び上側ハウジング部24によって概ね画定され（図2参照）、その内部に、多数のCD-ROMを収容する不図示の回転トレーを収容している。